

シンポジウム

アジアにおける新たなロースクールの将来

ーグローバル化に対応した法曹養成ー

日時：2008年11月29日（土） 13時～18時

場所：中央大学法科大学院（中央大学市ヶ谷キャンパス）

東京都新宿区市谷本村町 42-8

E-mail: cls-sympo0811@tamajs.chuo-u.ac.jp

13:00～13:40

挨拶と祝辞

久野修慈（学校法人中央大学理事長）

永井和之（中央大学総長・学長）

福原紀彦（中央大学法科大学院長）

ご来賓

13:40～16:00 個別報告

(1) グローバル化に対応した法曹養成

ー韓国各校の構想ー

Prof. CHUNG Chan-Hyung（高麗大学）

Prof. KIM Jeongoh（延世大学）

Prof. KIM Jae-Won（成均館大学）

Prof. KIM Chadong（漢陽大学）

(2) グローバル化に対応した法曹養成：

ー日本の法科大学院の取り組みー

伊藤壽英（中央大学法科大学院教授）

永田 均（琉球大学法科大学院教授）

(3) 実務界からロースクールへの期待と要望

矢部耕三（ユアサハラ法律特許事務所弁護士）

加藤 格（三井物産株式会社法務部長）

16:10～17:50 パネル・ディスカッション

パネリスト

個別報告者

他韓国6ロースクールの教授

17:50～18:00 閉会の辞

なお終了後、ホテルグランドヒル市ヶ谷にてレセプションを開催いたします。（18:30～20:30）

日本に続いて韓国でも、法曹養成システムに大きな改革が加えられ、2009年3月には新たなロースクール制度がスタートします。

これを機会に、このシンポジウムでは、同じく東アジアに位置し、また法システムや直面する国際的課題に共通点の多い両国のロースクール関係者と実務家が、グローバル化時代の法律業務分野で活躍することのできる法曹の養成について、進むべき共通の方向と今後の課題を論じます。

このシンポジウムは、中央大学が琉球大学及び明治大学と共同申請し、文部科学省の平成20年度「専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム」に選定された「グローバル化に対応した法曹養成プログラム」の一部を構成するものです。